

## 平成14年度秋季全国大会「研究発表」講演募集

概要集原稿の締切は皆様のご要望により事務処理期間を大幅に短縮し、申込締切と分離して大会2か月前とすることにいたしました。

従いまして、申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。



平成14年度秋季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日 平成14年10月3日（木）、4日（金）、5日（土）

開催場所 高山市民文化会館（高山市）

### —講演申込募集—

1. 申込締切：平成14年6月1日（土）  
（当日到着までを有効とします）
2. 申込資格：申込者は正員であること。連名の場合、講演者は正員（学生員も認める）でなければなりません。
3. 申込方法：下記を取り揃え、所定の期日までに提出してください（所定の用紙類は本誌に綴じ込んであります）。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。
  - (1) 講演申込書：所定の用紙を使用し、所定事項を洩れなく記入してください。
  - (2) 講演登録料：1件について4,000円をご納入ください。送金は必ず現金書留郵便でお願いいたします。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。  
※大会参加費（会員2,000円、非会員4,000円、学生無料）は大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集（5,000円）は別売となります。

(3) 受付済通知書：所定の用紙（郵便ハガキ形式）に指定事項（用紙に記載）を記入してください。

4. 原稿不切：平成14年8月1日（木）（くれぐれも期日を厳守してください）
5. 講演概要原稿：必ず本会所定の原稿用紙を使用し、「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。原稿用紙は常時販売していますので随時購入できます。  
原稿用紙代1組（2枚）50円  
発送料2組まで200円、10組まで270円、25組まで390円  
郵送による申込みの場合には原稿用紙代と郵送料に封筒貼付用の宛先カード（15×10 cm程度、宛先明記）を添えて現金書留で申込むこと。
6. 発表時間：講演10分、討論5分
7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに講演申込受付済通知書を発行いたします。

8. 講演申込の取り消しについて  
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。
9. 付帯器具の申込み：講演に必要な器具（フィルム映写機、VTR等）は遅くとも大会1か月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。（OHP及び液晶プロジェクタは常備します。なお、スライド使用の場合は、操作は講演者側でお願いします。）

10. 申込み先：〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11

溶接学会 全国大会係  
電話 (03) 3253-0488

◎電話による申込及び締切り以後の申込は一切受けませんのでご注意ください。

# 溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	項 目	備 考	分類記号 ・番号	項 目	備 考
<b>A</b>	溶接・接合プロセス	含機器	<b>E</b>	新材料接合部の諸特性	
1	溶融溶接(1)：アーク溶接，ガス溶接		1	セラミックス	
2	溶融溶接(2)：高エネルギービーム溶接		2	複合材料	
3	圧接(1)：抵抗溶接		3	機能材料	
4	圧接(2)：摩擦，超音波，爆接など		4	高分子材料	
5	固相接合，拡散接合		5	その他	
6	接着，ウエルドボンド		<b>F</b>	溶接・接合部の強度・破壊と設計	
7	ろう接：ろう付，はんだ付		1	溶接・接合部の応力，変形	含残留応力
8	マイクロ接合		2	溶接・接合部の静的強度	
9	機械的接合：リベット，ボルト継手など		3	破壊靱性，き裂（発生，進展）	
10	その他		4	疲労強度，疲労き裂	
<b>B</b>	表面改質及び熱加工プロセス	含機器	5	環境強度，クリープ	
1	成膜(1)：肉盛，溶射，めっき		6	溶接・接合設計（強度計算など）	
2	成膜(2)：PVD, CVD, イオンミキシング		7	信頼性，安全性評価	
3	成形：焼結，HIP，鋳ぐるみなど		8	劣化診断，寿命予測	
4	切断，ガウジング，穴あけ加工など		9	その他	
5	その他：焼き入れ，グレージング，封孔処理など		<b>G</b>	品質保証，施工管理	
<b>C</b>	制御・システム工学		1	品質保証，工程設計など	
1	センサ，モニタ，計測技術		2	安全・衛生，教育，訓練	
2	インプロセス制御技術，品質制御技術		3	非破壊検査，同機器	
3	ロボット工学・技術		4	生産設備など	
4	自動化，システム化技術		<b>H</b>	接合技術の新しい展開	
5	CAD, CAM, FA		1	新接合技術	
6	その他：新技術，新システムなど		2	新熱源開発，同応用	
<b>D</b>	金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性		3	新素材開発	
1	溶接・接合部並びに表面改質部の物理化学		4	加工技術	
2	溶接・接合部並びに表面改質部の組織及び機械的性質	含鋼材，溶接材料など	5	その他	溶接・接合工学に基づく技術
3	耐食性，耐環境性		<b>I</b>	溶接・接合技術の各産業分野への展開	
4	低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど		1	製品開発	
5	気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥		2	生産，製造，施工，組立など	
6	その他		3	その他	



## 全国大会講演概要原稿執筆要領 (キーワードをご記入ください)

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版 (約2/3) に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

### 1. 原稿用紙

本会所定のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先 (研究場所)、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの印刷してある用紙 (A) を使用してください。

(原稿用紙にすでに印刷してある文字は印刷の際は写りません)

### 2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)、勤務先、著者名 (和英両文)、キ

ワード (和英両文) 本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙2枚 (A, B) にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40字×37行×2枚=2,960字 (タイトル等に約360字、本文は約2,600字) です。

### 3. 原稿の書き方

#### イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いないように記載して下さい)

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように3～5ワード書いて下さい。

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

#### ロ. 本文

原稿用紙(A)12行目から(B)いっぱい原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにコマ数(40字×37行)だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。鉛筆書きは、原稿取り扱い中に消滅の恐れがあることと刷り上がりがよくないので使用しないでください。また、ボールペンも字の輪郭がぼやけ、刷り上がりが汚くなることがあります。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約2/3に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

#### ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺(約2/3)を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが2/3になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明(Caption)は英文で書いてください。(写真はPhotoでなくFig. としてください)

#### 4. 校正

校正は(著者、編集者とも)いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。書き損じた場合は、用紙を汚さないよう注意して修正してください。

(汚れはそのまま刷り上がりますので、白色の修正液を用いるか、できるだけ原稿用紙と同質同光沢の用紙を貼って修正してください。紙を貼って修正する場合、下の字が透けないよう注意してください。)

#### 5. 原稿の提出

全国大会研究発表講演募集要領(会誌2号、6号で会告します)に従って期日までご提出ください。

なお、原稿を郵送する場合は、折れ曲がらないように厚紙を添え、封筒の表に講演番号を明記し、「全国大会講演概要原稿」在中と書いてお送りください。

[原稿見本]

( )	プラズマ溶接の研究
↑	
講演番号	日本工科大学 ○秋山 冬彦
(本会で記入)	世界電機(株) 夏川 春樹
	Study on Plasma Welding
	by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa
	キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics
	本文(12行目から)→
	本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……
↑	
1～2字アケル	



## Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

### 1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

### 2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

### 3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

#### a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

#### b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

#### c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

### 4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor.

### 5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note “Manuscript for the National Meeting” on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling.

– SAMPLE (reduced in size) –

## PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED El-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda  
Department of Welding and Production Engineering  
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi  
Sumitomo Metal Industries, Japan

**Keywords:** fracture, toughness, plastic constraint

### INTRODUCTION

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a

major factor resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.



## 全国大会講演プログラム校正の電子化(試行)について

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧を試行しておりますので、希望される講演者は、所定の全国大会講演発表申込み用紙（本誌2, 6号綴じ込み）のEメール欄にEメールアドレスを記入し、お申込みください。Eメールアドレスの記入がない講演者には、従来どおり校正刷りを郵送いたしますので、Eメール欄は空白のままお申込みください。

### 記

#### 1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛にEメールにてご通知いたします。（校正刷りの郵送はいたしません。）

#### 2. 使用ソフト

アドビ社製アcroバットリーダー、バージョン4.0（ウ

ィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>

また、現在アcroバットリーダー バージョン3.0の方は4.0にアップグレードしてください。

#### 3. 開示場所

<http://www.jpp.co.jp/yosetu>

#### 4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-3253-3059) にて送信ください。Eメールでの送信はご遠慮ください。

#### 5. アcroバットリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) 電算室

Tel 06-6441-0075 Eメール [kobayasi@jpp.co.jp](mailto:kobayasi@jpp.co.jp)

## 平成14年度春季全国大会における液晶プロジェクター利用の 試行について

全国大会運営委員会

平成13年度溶接学会秋季全国大会より、液晶プロジェクターの利用を試行しておりますので、今春季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守するとともに、トラブルがあった場合には、OHPシートによる発表に切り換えさせていただくことをご了承の上ご使用ください。

### 記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ
- 2) パソコン

発表者の準備するもの

- 1) パワーポイントで作成した発表用のファイル

(ISO9660形式)

メディアはCDとし、ファイル名は次のように付けておいてください。

講演番号+発表者氏名.ppt

- 2) OHPシート

※休憩時間の間に液晶プロジェクタに接続したパソコンに、発表者ご自身で発表用のパワーポイントファイルをコピーしていただきます。各自持参のコンピュータを接続することは行いません。

※トラブルがあった場合には、OHPプロジェクターによる発表に切り換えさせていただきますので、OHPシートも必ず準備しておいてください。



## 平成14年度秋季全国大会フォーラム論文募集

**主 題**：新溶接・接合プロセスにおける溶接・接合現象の材料科学的アプローチ

**座 長**：西本和俊(大阪大学大学院)，粉川博之(東北大学大学院)，小溝裕一(住友金属工業(株))

近年，摩擦攪拌溶接，パルス放電接合，瞬間溶融接合のような新溶接・接合プロセスが提案され，場合によっては，溶融溶接の代替接合法となる可能性がある．これらのプロセスは，その特徴の一つとして，溶接部での金

属的な希釈が少ないため，有害な金属間化合物の形成の抑制が可能であることが挙げられ，従来より接合が困難と言われている異材継手の作製に威力を発揮すると考えられる．このような付加価値の高い接合継手が，信頼性良くできるならば，製品の製造における材料の選択肢も拡がり，今後の製造分野の発展にも大きく貢献すると考えられる．

従来の溶融溶接における接合現象に関しては，数多くの実験データならびに機構の解明が行われているが，こ



これらの新溶接・接合プロセスに関しては、まだ十分に把握されているとは言い難い。溶接冶金研究委員会では溶接に関する材料的諸問題に関して従来より積極的に取り組んでおり、数々の成果を上げてきた。接合機構の解明は、ものをつなぐ技術の基本であり、重要であるため、近年、これらの新溶接・接合プロセスに関しても材料科学的な取り扱いを行ってきた。

そこで、本フォーラムでは、新溶接・接合プロセスの接合機構について現状解明された点と未解明な点を把握し、今後、進めて行く研究の観点を明確にすることを目的とする。

## 記

**日 時**：平成14年10月4日(金) 13：00～17：00

**場 所**：高山市民文化会館(岐阜県高山市)

**討論項目**：

(I) レビュー

1. 新溶接・接合プロセスの最近の動向

(II) 新溶接・接合プロセスにおける接合現象の把握と接合機構の解明

2. 摩擦攪拌溶接
3. 界面接合
4. 真空圧延接合
5. パルス放電接合
6. レーザ異材溶接
7. 電子ビーム溶接

**講演申込方法**：著者名、タイトル、アブストラクト(400字)、連絡先を明記の上 FAX にて溶接学会(FAX: 03-3253-3059)までお申込下さい。

**申込締切日**：平成14年4月15日(月)

講演採否：お申込まいただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します。

**原稿締切日**：平成14年8月1日(木)

採択された講演者は所定のオフセット用原稿用紙4枚以内(表、図、写真などを含む)で原稿を作成し、期日までに提出下さい。提出いただいた原稿は溶接学会全国大会講演概要 No.71 に掲載致します。なお、講演時間は質問を含めて1件30分程度を予定しています。原稿作成・講演方法などの詳細は座長より連絡されます。

# 溶接構造シンポジウム2002—「環境とものづくり」のための技術革新—

講演申込募集【申込締切：6月25日】

## 溶接構造シンポジウム2002 —「環境とものづくり」のための技術革新—

**主催：**(社)溶接学会 溶接構造研究委員会

**共催：**大阪大学

(工学研究科生産科学専攻、接合科学研究所)

**協賛：**日本溶接協会、日本造船学会、日本機械学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本鋼構造協会、日本金属学会、軽金属学会、日本建築学会、土木学会、関西造船協会、日本材料強度学会、日本複合材料学会、高分子学会、日本セラミックス協会、日本高圧力技術協会、日本原子力学会、応用物理学会、腐食防食協会、日本非破壊検査協会、軽金属溶接構造協会、摩擦圧接協会、日本圧接協会、日本塑性加工学会、日本計算工学会、型技術協会、高温学会（交渉中）

**日程：**平成14年11月19日（火）、20日（水）

**会場：**大阪大学銀杏会館（吹田キャンパス）  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2）

**開催主旨：**21世紀に入って「ものづくり」の重要性はますます高まりつつありますが、従来からの生産加工技術に加え、安心・安全な社会空間の創造、持続型製品設計、循環型生産などに対応すべく、さらなる技術革新が求められています。我が国の製造業の中心的役割を担ってきた溶接・接合技術においても、材料・設計・施工・検査とい

った要素技術の更なる発展とシステム化により、生産の空洞化の回避、低コスト化による国際競争力の向上、エネルギー・環境問題への対処など種々の問題に取り組んでいく必要があります。また、重厚長大のみならずエレクトロニクス実装などのマイクロ領域においても、「つなぐ」という技術への高い信頼性が要求されています。このように大きく変化する社会情勢に対応するための溶接構造関連の研究動向を議論する場として、溶接構造シンポジウム2002を企画致しました。特別講演とホット・トークに加え、多岐の分野の技術者・研究者からの研究発表を広く募集致しますので、奮ってご参加下さい。

### ◆特別講演

『ロケットエンジンにおける接合技術の諸問題』

宇宙開発事業団 宇宙輸送システム本部

今野 彰 氏

『NEDOにおける燃料電池開発の状況—固体高分子型燃料電池開発の動向—』

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

西村 靖雄 氏

### ◆ホット・トーク（仮題を含む）

○超鉄鋼 Phase 2 の展開と課題

物質・材料研究機構 構造材料研究センター

長井 寿 氏

○建築・鉄骨製作における最近の動き

千葉工業大学工学部建築学科  
山田 丈富 氏

○夢舞大橋（旋回式浮体橋）建設プロジェクト

日立造船（株）鉄構・建機事業本部  
田中 洋 氏

○鉛フリーはんだ接合部の信頼性設計における応力解析技術

（株）東芝 研究開発センター  
向井 稔 氏

○金属材料(接合部)の微生物による腐食劣化と抗菌化の目的

大阪大学接合科学研究所  
菊地 靖志 氏

○最近の摩擦撹拌接合(FSW)の開発・適用状況と今後の動向

（株）日立製作所 日立研究所  
岡村 久宣 氏

◆一般セッション（講演時間20分(予定, 討論5分を含む)）

- (1)高強度鋼の利用技術
- (2)鋼構造の設計・施工
- (3)ロケット開発における高信頼性技術と低コスト化
- (4)静的／動的強度と破壊
- (5)疲労強度特性とその向上策
- (6)溶接変形予測と工作精度管理
- (7)溶接残留応力評価と制御
- (8)特殊環境下での溶接・接合
- (9)異材接合体・接着継手の強度評価
- (10)皮膜・薄膜の特性評価
- (11)電子デバイス実装・パッケージングの信頼性評価
- (12)インターフェイスメカニクス
- (13)材料のナノ・マイクロメカニクス
- (14)非破壊検査による溶接・接合部の信頼性診断
- (15)ステンレス鋼の構造設計分野への新展開
- (16)新素材の構造物への適用と評価
- (17)応力腐食，経年劣化と余寿命診断
- (18)環境調和型設計とライフサイクルアセスメント
- (19)その他

◆講演論文の募集

- (1)次の二つの分類で公募し，A4サイズのオフセット印刷により講演論文集を印刷致します。  
分類Ⅰ(4ページ以内)：研究発表的/速報的な性格のもの。  
分類Ⅱ(8ページ以内)：論文発表的な性格のもので，溶接学会論文集に“論文”として直接投稿できることを考慮しています。
- (2)発表内容は原則として未発表のものが望ましいですが，必ずしもこの限りではありません。

(3)会員・非会員を問わず，広く募集・受理致します。

(4)講演論文は，分類Ⅰ，Ⅱにかかわらずオリジナル論文表彰を行います。

◆講演論文の申込要領

- a)著者名（講演者に○）および所属（略記）
- b)代表者通信先（氏名，住所，所属，TEL，FAX，E-mail）
- c)論文題目
- d)論文概要（100字～200字程度）
- e)関連のトピック番号（上記の(1)～(19)から複数回答可）もしくはキーワード
- f)論文の分類（ⅠまたはⅡ）
- g)分類Ⅱの場合，溶接学会論文集への直接投稿希望の有無を下記申込先までFAX，E-mail等でお送り下さい。  
後日，執筆要領と案内状をお送り致します。

◆申込締切日

講演申込締切：平成14年6月25日（火）

原稿提出締切：平成14年9月25日（月）

◆シンポジウム参加登録料（講演論文集を含む）

溶接構造研究委員会委員  
（委員所属会社からの参加者も含む）：15,000円  
オーガナイザーおよびその紹介者：15,000円  
溶接学会会員・協賛学協会会員：20,000円  
学 生：5,000円  
その他：25,000円  
（学生の聴講のみは無料，その場合に講演論文集は実費(5,000円)にて頒布）

◆会場案内

JR「新大阪」より北大阪急行「千里中央」経由で大阪モノレール利用，阪急電車「(大阪)梅田」より千里線「北千里」下車で徒歩，詳細は大阪大学のホームページを参照下さい。

<http://www.osaka-u.ac.jp/annai/campus/access2.html>

<http://www.osaka-u.ac.jp/annai/campus/suita.html>

◆シンポジウム実行委員会

委員長：南二三吉（阪大）  
副委員長：村川英一（阪大），大澤守彦（日立造船）  
幹 事：高野直樹（阪大），望月正人（阪大）

◆申込先および問合せ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1  
大阪大学 大学院工学研究科 生産科学専攻  
溶接構造シンポジウム2002幹事  
高野 直樹  
TEL. 06-6879-7564, FAX. 06-6879-7570  
E-mail: takano@mapse.eng.osaka-u.ac.jp